

＝ 普 及 情 報 ＝

No. 5

平成30年3月28日

隠岐支庁農林局農政・普及部

標 題 隠岐島後認定和牛改良組合研修会～今後の隠岐の畜産振興をどうすべきか～を開催

(ダイジェスト)

1月22日に隠岐島後認定和牛改良組合研修会が開催され、畜産農家等21名が参加しました。農林局より「隠岐の現状と課題」について説明、全国和牛登録協会島根県支部副支部長より「全国和牛改良の状況」について情報提供した後、JAしまね畜産課、JAしまね隠岐地区本部長、隠岐の島町課長補佐、島根県畜産課、畜産技術C育種改良部の6名の方にパネラーとして加わっていただき、今後の隠岐の畜産振興対策について意見交換を行いました。

隠岐島後地域では規模拡大を希望する畜産農家が多く、今後10年以内に現在の飼養頭数が483頭から700頭近くまで増頭される予定です。意見交換会では増頭対策として①牧野の確保、②島内での自給飼料作物の確保、③優秀な素牛の確保と高齢化に伴う担い手確保対策。飼養管理技術向上対策として、①出荷子牛の高品質化、②空胎日数の短縮、事故防止による生産性向上について意見交換を行いました。

畜産農家から「WCSがまだまだ足りていないので、生産量を拡大して欲しい」、「新規就農者の初期投資が安くすむ仕組み作りをして欲しい」等、多くの意見が出ました。

今後の増頭対策については、牧野の継続的な整備、更なるWCS生産量拡大に向けて島を上げての高品質化支援や新品種の導入による単収向上を進めること等を確認しました。

また、出荷子牛の高品質化については、パネラーより肥育農家の求める、肥育にかけても食いが落ちない飼いやすい子牛生産の提案や、発育良く乳量が多い、肢蹄のしっかりした隠岐らしい母牛を残して欲しい等説明がありました。

今回の研修会で整理された課題や対策案をもとに、来年度は各種研修会の開催や事業活用、巡回指導等、普及活動につなげ、課題をひとつでも解決して、隠岐の畜産振興の一助となるよう尽力したいと思います。

